

（午後4時5分 再開）

○議長（土井裕美子君）休憩前に引き続き、会議を開きます。

日程に従い、一般質問を行います。

順番6、13番 田中さん。

〔13番（田中博晃君）登壇〕

○13番（田中博晃君）それでは、通告に従い一般質問を行います。

まず、1項目め、移住政策について。

新型コロナウイルス感染症によるテレワーク導入により、仕事の在り方が大きく変貌を遂げようとしている。ある大学の調査では、都会から農村部への移住を考える人たちにとって、インターネット環境は不可欠なもの。では、遠隔医療、教育、スマート農場や自動運転など、5GやIoTが実現する未来は移住を後押しするのだろうか。子育て世代をターゲットにしたネット調査からは、移住者が魅力を感じるテーマが浮かび上がってきたとしている。

また、ある機関の調査では、コロナ禍で導入が進んだテレワークについて、感染症の影響下で地方移住への関心が高まったと考えた人の割合が、テレワーク経験者は経験していない人の2.5倍にのぼったという結果もある。また、都市部から地方への移住を取り込む機会。だからこそ、テレワークの環境整備が一つ重要だとも結論づけている。

ある地方自治体では、商用サービスが開始され普及が見込まれる5GなどのICTに関して知見を深め、地方創生をさらに進めるため、5G、IoT、AIの活用による地方創生に関する連携協定を結んでいる。

本市は5G等のサービス開始をチャンスと捉え、移住希望者への、都会に一番近い田舎

をPRする機会を逃すことのないよう、今から対策を練るべきと考える。

よって、以下の質問を行う。

①本市が行った移住説明会において、ネット環境等について本市からの説明や出席者からの質問はあったか。

②5GやIoTの活用について、企業誘致との関連づけは。

③5G等を一つのツールとして、今後の移住政策を考えてみては。

2項目め、市道高野口8号線の進捗について。

以前、市道高野口北部連絡線から京奈和自動車道高野口インターチェンジ付近、国道24号までの市道高野口8号線を県道にとの一般質問を行ったが、その後の進捗は。

以上で質問を終わります。明確な答弁よろしく願いいたします。

○議長（土井裕美子君）13番 田中さんの質問項目1、移住政策に対する答弁を求めます。

経済推進部長。

〔経済推進部長（北岡慶久君）登壇〕

○経済推進部長（北岡慶久君）移住政策についてお答えします。

まず、一点目の、移住説明会においてネット環境等について本市からの説明や質問があったかについてのおたただしですが、移住説明会においては、ネット環境等について本市から説明は行っていません。移住希望者の方は田舎暮らしや自然環境を求めて本市に興味を持っていますが、インターネット環境は不可欠と考える方も多く、光ファイバーの開通状況や携帯電話はどの会社が使用できるか、また、ネット通販利用時の宅配料金の加算があるか等の質問は度々ある状況です。

また、大半の方が橋本市ホームページに掲載している橋本市移住応援サイト「はっっこ暮らし」を事前にご覧になり、情報を収集した上で移住相談をされています。また、テレワークが浸透してきたことで本格的に田舎暮らしを考える人も増えてきており、移住相談の件数も増加傾向にあるところです。

本年度、東京、大阪等で開催予定であった移住説明会については、コロナ禍により相次いで中止となりました。また、移住相談者への本市「まち案内」も一時中止するなど大きな影響が出ています。

そのような状況の中、市としての移住相談窓口担当である移住コンシェルジュとつながりを持った人たちに少しでも橋本のことを身近に感じてもらうため、今年の冬には初めての季刊誌「はっっこ暮らし通信」冬号を発行し、次回は春号、4月初旬の発行を予定しています。

また、相談を続けてくださっている方、今年度移住してきた方などへ手紙を送り、リアルな形でつながりを保つ取組を行っています。また、2月にはネット環境を活用したオンラインセミナー(移住相談会)を開催するなど、今できることに工夫しながら取り組んでいるところです。

次に、二点目の、5GやIoTの活用と企業誘致との関連づけについてお答えします。

本市の企業誘致施策については、あやの台北部用地の分譲を最優先に考え取り組んでおり、地域の雇用創出に向けて、製造業や研究機関等を中心に企業誘致を行っています。IT企業等の誘致に関しては平成31年4月より、本市へ進出しやすいよう奨励金の交付要件を見直し、誘致活動に取り組んでいるところです。

コロナ禍を契機にテレワーク化が進んでおり、本市でも京阪神等へ通勤している方が自

宅などでテレワークを行っているケースは多いと考えられます。本市では、IT企業やテレワークとして利用できる施設等が少ない状況の中ですが、ICTオフィスを整備する事業者への奨励金制度を整備し、IT企業等の誘致に積極的に取り組んでいる和歌山県とも情報共有、連携しながら、引き続き誘致活動に取り組んでまいりたいと考えています。

なお、5GやIoTの普及はIT企業やテレワークの活用にも重要と考えられますので、今後、インターネット環境の向上が本市へ進出する企業や施設整備を検討する企業などの追い風になることを期待しつつ、情報収集を行っていきますので、ご理解いただきたいと思います。

最後に、三点目の、5G等を一つのツールとして、今後の移住施策を考えてみては についてお答えします。

民間企業では、ローカル5Gによる住宅サービスの展開をめざし、地方都市のスマートシティ化を進めている事例があります。今後、5G等の環境整備が進み、遠隔医療、スマート農業や自動運転など整備されることにより、田舎暮らしがもっと便利で身近なものとなり、子育て世代をはじめ幅広い世代が、都市部になくても橋本市で暮らしてみたいと思える移住政策を時代に乗り遅れることなくPRしていけるよう、常にアンテナを張り、橋本市に移住したいと思ってもらえるように、引き続き取り組んでまいります。

○議長(土井裕美子君)13番 田中さん、再質問ありますか。

13番 田中さん。

○13番(田中博晃君) 答弁ありがとうございます。今、答弁いただいて、今も頑張っているし、これからも頑張っていくよという力強い答弁だったのかなというふうに感じております。

再質問を行いたいですけれども、相談会のほうには「はっっこ暮らし」を見てくれて来てくれる方が多いんやというお話でした。ただ、その前の答弁で、送料とかは要るんかいとか、恐らく皆さんもネットで買物するとき結構気になると思うんですけれども、やっぱりそういったものというのは、もう早い段階で、例えばQアンドAであったり、市の公式として送料の追加はないよとは言にくいかもしれませんが、例えば、担当者は取られたことないですよぐらいのことが、そういう文言があったりすれば、より分かりやすいのかなというふうに感じておりますが、そういったものを今後ネットで掲載していったら、移住希望者、相談者により伝わりやすいと思うんですけれども、いかがでしょうか。

○議長（土井裕美子君）経済推進部長。

○経済推進部長（北岡慶久君）議員おただしの件についてお答えさせていただきます。

今回、答弁を作成させていただいている中で、担当者に具体的にどういった相談があるのかというようなことをいろいろ協議しました。その中で、私たちが当たり前やと思っていることが、もしかしたら移住される方にとっては、何て橋本市ってこんなことなんやという情報がたくさんあると思います。

そういったこと、先ほど壇上でもお答えさせていただきましたが、宅配便の送料等のことも含めて、できるだけ早い段階でQアンドAに追加して、移住される方がご覧になれるよう対応していきたいと思っておりますので、ご理解いただきたいと思っております。

○議長（土井裕美子君）13番 田中さん。

○13番（田中博晃君）よろしくお願ひいたします。

続いて、やっぱり移住ということを考えていった場合に、どうしても、移住された方が疑問に思う、あれ、こんなんじゃないかと

いう、よく調べてみたら、やっぱり近所付き合い等がちょっと、苦痛とまでは言いませんけれども、そこまであるのかなというのが分かっていなかったとかいうのもあるし、うちのホームページを見たら、橋本市は水道料金がちょっと高いですよというのも今書いてくださっているかと思うんですけれども、そのような部分で、やはり、ええとこ悪いとこというのはきっちり出していかなあかなのかなというふうに考えるんですけれども、いかがでしょうか。

○議長（土井裕美子君）経済推進部長。

○経済推進部長（北岡慶久君）確かに、いいことばかりではなくて、移住された方が、移住相談を受ける方が、こういった具体的な質問もあります。例えば、雪は年に1回か2回降ります。私たちにとって当たり前のことなんですけども、移住された方にとって、えっ、雪が降るのという、そんな感覚に陥ります。

水道料金のこと、それからごみ収集のことにも問合せ等が多いのは確かですので、そういったことを丁寧に説明、担当のほうからさせていただいて、ご理解を頂きながら移住施策を進めているところです。

近所付き合いについても、やはり都会から田舎に引っ越してくるという中で、非常に危惧される方も多いです。例えば、地域ごとの行事、それから、掃除のこと、お祭りのこと、あいさつのことなど、地域の方と本当に溶け込みたいという心がけをしていただければ、相互にいろんな、何というのか、親密な関係が出てくるんじゃないかな、心配ありませんよという、そういった声がかけているところです。

移住された方のお話の中では、本当に子どもへの声がかける地域だな、それから、飼い猫がいなくなったとき一緒に探してくれましたよとか、気がつけば玄関に野菜がたくさ

ん置いてくれていますよという、そういったお話もあるというようなことも伝えさせていただいています。

○議長（土井裕美子君）13番 田中さん。

○13番（田中博晃君）やっぱりそういうのって一番気になるところかもしれませんし、いざ引越してきてしもうてからやったら、その後なかなか改善しづらいというのか、思っているのと違ったというので、じゃ、また引越そうというわけにもいかないの、やはり事前にそういうのが分かるようにしていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

続いてです。ホームページ等、あと「はしっこ暮らし」等を見せていただいても、結構、移住者の方のコメントというのが載っていて、すごく分かりやすいのかなというふうに考えております。

移住者ってもっとたくさんいらっしゃるかと思しますので、そういった方々の意見も随時上げていってもらえたら、あ、こういう意見もあるんや、こういう考え方もあるんやというのが今後、移住希望者にうまいこと伝わって、それを踏まえた上で来てもらえるのかなというふうにも考えておるんですけども、そういった部分で、どんどん更新もしてほしいんですけども、いかがですか。

○議長（土井裕美子君）経済推進部長。

○経済推進部長（北岡慶久君）移住された方につきましては、パンフレットやそれからホームページ等に対談等を掲載させていただくこと、また、本市が主催する、また、他方が主催するような移住相談会においても出席いただいて、橋本市への移住体験をお話いただくなどの協力を頂いています。

全ての方に協力を頂けるというわけでは現状ないんですけども、引き続き多くの方にそういった声を掲載させていただき、ご協力い

ただけるよう、引き続き努力していきたいと考えています。

○議長（土井裕美子君）13番 田中さん。

○13番（田中博晃君）よろしく願いいたします。

次に、企業誘致で、先ほどご答弁いただいたんですけども、もしかしたら今後、公共施設の再配置なんかで空き施設ができて、もしかしたら貸出しとかというの也被考えられるかもしれない。以前にも同僚議員がそういった質問もされていますけれども、じゃ、その時になって慌てて考えるんじゃないで、今の段階で持っている情報というか、例えば問合せがあったときに、いや、もう橋本市のネット環境というのはこんな状態ですわとかというので、そういう情報を集めておいて、問合せがあった段階ですぐ活用できる体制というのは必要なかなというふうにも考えます。

また、県のほうでも奨励金を出す予定なのかな、というのもあるかと思うんですけども、そういったことも含めて、一つのツールとして情報収集で活用していけるような体制を取っていただきたいのと、併せて、企業誘致やったら企業誘致のところのホームページにも載っけてもらえたらなというふうに考えておるんですけども、いかがですか。

○議長（土井裕美子君）経済推進部長。

○経済推進部長（北岡慶久君）本市の空き公共施設有効活用というようなことですが、つい先日、旧信太小学校について有効活用事業の募集提案というのがございました。山間部ということもあって、光ファイバーが届いているのかなとか、そういった問合せもあったというふうにお聞きしております。光ファイバーもちゃんと信太小学校には届いているということでした。

あと、ネット環境等について、4G、それから5G等が本当に公共施設、その他、公共

施設周辺にあるかないかということ、これから非常に大事な項目の一つになってくるというふうに思います。

あと、和歌山県が来年度4月施行に向けて要綱を整備しています。首都圏等からの大規模オフィス移転を促進する大規模オフィス移転・多数移住奨励金というのが先ほど議員おただしのものだと思いますが、当奨励金が整備されますと、都市部からのオフィス移転を考えておられる企業に対して誘致を推進する武器の一つになると思われます。

先ほど来、ホームページ等で重要な情報を発信するというようなお話の中で、こういったことも本市としても積極的にPRをさせていただいて、引き続き企業誘致に取り組んでまいりたいと思います。

○議長（土井裕美子君）13番 田中さん。

○13番（田中博晃君）よろしくお願ひいたします。

どうしても今、白浜町とか田辺市のほうが結構精力的に動かれているというのがありますけれども、それで橋本も負けてられませんし、やはりそういった情報発信というのは常々必要だと思いますので、よろしくお願ひいたします。

次の質問なんですけれども、ほかの自治体なんかやったら、もう5Gキャリアといろんな連携を結んで、今後つながった場合にこういうことをやっていこうというので協議体をつくられた、質問の中でもしゃべらせてもらったんですけれども、実際活動されている、協定を結んで考えられている自治体もあります。

そんな中で、橋本市も大手のキャリアからそういった問合せとかが、あったのかなかったのかという部分はいかがですか。

○議長（土井裕美子君）経済推進部長。

○経済推進部長（北岡慶久君）キャリアから

の問合せということではなくて、逆に本市のほうから先日、大手キャリア担当者の方をお呼びしまして、そもそも5Gというものがどういうものであるとか、5Gを活用したらどういった事業所が取り組めるのか、施策として取り組めるのかも含めた情報を頂いたり、なおかつ本市において5Gが今後どのようなエリアに拡大していくのかというような情報も頂いたところです。

経済推進部を中心にそういった協議をまずはさせていただいたんですが、大手キャリアの方、他のキャリアも含めまして、やはり今後どういった考えをされていくのかというのは、本市いろんな部署での情報収集をすることは重要だと思いますので、広くこれを機会に声をかけていければ、一緒になって勉強会等をしていきたいなど、そんなふうに考えているところです。

○議長（土井裕美子君）13番 田中さん。

○13番（田中博晃君）もうそこまでやっていただいて、ほんまにありがたいといひますか、やはり企業もそうですし、まず、やっぱり橋本市の職員方も、いや、こんなもんですかという、逆に、問合せがあったときに企業とかにも言えるぐらいになっておけば、もしかしたら来ていただける可能性がちょっとは高くなるのかなというふうに考えておりますので、ぜひぜひ、もう勉強会もやってくださっているということですので、ありがたく思いますし、これからもやっていってください。よろしくお願ひいたします。

次の質問に移るんですけれども、様々な自治体、過去は、例えば5Gやったら5Gが始まってから考える、デジタル庁ができてから考えるとかというようなことが、過去は5Gとかとちゃうけども、多かったのかなど。でも、今は事前にできる範囲で調査、準備しておかないと、どうしてもこの波、すごいビッ

グウェーブになるかもしれへん、でも、これに乗り遅れたらどうしようもないですよ。

何がどない進むか分からないというのが現状だと思います。ですから、今現状では5Gに対するメリット、デメリットも分かりにくいのかなというふうには考えます。ただ、準備だけはしとかなあかん。

以前、これは私の知っているところなんですけれども、携帯の着メロの配信を始めた人、高野口の方なんですけれども、その頃、多分二十四、五年前になるのかな、30年近く前になるんですけれども、当時はそんなんやってもというふうには言われていましたけれども、やはりそこも大手キャリアと提携を結んだことで一気に会社がでかくなった。ということは、ほんまに何が起こるか分かれへん。そんな無理やでと言うとることが一瞬で起こるのがもう今のかなというふうには考えています。

コロナというすごいピンチなんですけれども、やっぱりコロナに勝たなあかんし、これコロナを見返してやらなあかんというふうに私は考えておるんですけれども、よその自治体なんかやったら、うまいことという言葉がいかどうか分からないですけれども、芸能人の方が移住してきたというのをPRに使っているところも実際あります。観光とかアニメとかという部分も一つのツールとして発信している自治体はたくさんあります。

選択するのは移住者側にはあるんですけれども、情報発信とか情報収集という部分ではよその自治体に負けとったらあかんし、やはりよその自治体と違いを見せつけやなあかんのかなというふうには考えています。私は橋本市というのは都会に一番近い田舎やというふうには考えています、約1時間もあつたら大阪の中心地にまでばんばん行けるしというのがあります。

5Gに関しても、恐らくもう二、三年すれ

ば全体に浸透するのかな、そういう環境が整うのかなというふうには考えておるんですけれども、今、橋本市でももしかしたらこの部分が一番不足しているんかなと。それはPRという部分も含めてですけれども、やはり、もっともっと情報を橋本市として収集して、もっともっと情報という商品を表に出していくという部分が必要だと思うんですけれども、いかがでしょうか。

○議長（土井裕美子君）経済推進部長。

○経済推進部長（北岡慶久君）橋本市をPRしていくという視点で、平成27年度より経済推進部の中にシティセールス推進課、それから、はしもとブランド推進室等が創設され、私たち職員としても積極的にPRをしているんですが、まだまだそういったことが大きな実績として結びついていないというようなことを考えています。

そういった中でも、本市としてPRできるということについては、まだまだ私たちが気づいていないことがたくさんあると思いますので、そういったところを積極的に発掘して、今後もPRに努めたいなど、そんなふうに思っています。

12月議会で、橋本映像研究部というんですが、職員の中で動画をいろいろ研究するという部署をつくってというようなお話をさせていただいたと思うんですが、今現在そのメンバーを募集しています。令和3年4月から活動する予定ですが、若い職員を中心にいろんなPRのしかたを勉強してもらって、私たちもいろんなことを若い職員から、頭を軟らかくするような知恵を頂きながら、一緒になって取り組んでいきたいなど、そんなふうには考えているところです。

○議長（土井裕美子君）13番 田中さん。

○13番（田中博晃君）期待しています。ぜひよろしくお願いいたします。

さっきの企業誘致のところの答弁の中で、インターネット環境の向上が本市へ進出する企業や施設整備を検討する企業などの追い風になることを期待しつつ情報収集を行っていくという答弁を頂きました。

でも、これって私が思うに、企業誘致だけじゃなくて、企業誘致することで移住してくる人もおるかもしれへんし、また、テレワークという部分で移住を考えているという方もいらっしゃるかもしれない。ということは、私の中では、これはそういった意味での情報収集と一緒にのかなというふうに感じております。

そこで、この情報収集というのは具体的にどういったところを指しているのか、いかがでしょうか。

○議長（土井裕美子君）経済推進部長。

○経済推進部長（北岡慶久君）先日協議をさせていただいたのは一つの大手キャリアです。その他にも本市で5Gを拡大する、基地局を造るといったような事業所がございますので、そういったところにも本市から情報収集をさせていただきたいというような依頼を、まずはさせていただきたいなと思っています。

5Gに関する技術革新というのは、これは企業にとっても、それから、その地域に住んでいる方、ましては大阪周辺、都会からこちらに移住されようと考えている方、それから、企業誘致を検討される企業にとっても、非常に大事な項目の一つになりつつあると思いますので、しっかりと、定期的に情報を頂けるように私たちも勉強していきたいと、そんなふうに思っているところです。

○議長（土井裕美子君）13番 田中さん。

○13番（田中博晃君）よろしくお願ひいたします。やっぱりもう、さっきも言いましたけど、情報って商品になる時代になっていますので、橋本市がすごくこういう情報を持って

いるんやと、逆によその企業から聞きに来るぐらいになったらいいなというふうに考えております。

職員の仕事を増やすことになるかもしれないんですけども、そのことが結果、人口が減っていくスピードをちょっとでも緩められへんかとかでもつながっていけばいいですし、企業誘致が進んでいけばいいのかなというふうに考えますので、よろしくお願ひいたします。

移住される方の全国平均の年齢がだいたい30歳から40代というふうに言われております。実は、私の知り合いももともとCAをやっていて、その後、大手の企業に引き抜かれて海外を中心に仕事をしている方なんですけれども、もともとどっちかというところとテレワーク中心やったと。海外へ行く前に本社に1週間ぐらい詰めて話をして、そのまま海外に行って、結果報告等はまたテレワークでやってきたという人もあって、今はさすがにコロナ禍なので、そういう仕事はないんですけども、海外には行けないですけども、相変わらず会議はテレワークでやっている。

現在、東京で住んどんやけども、もう高野口へ帰ってこうかなというような話も聞いています。ということは、もしかしたらチャンス。そういう方ってその辺におるのかなというふうに考えられるんですけども、やはり、特に、移住年齢が先ほど言った30代から40代が多いというところで、ここに絞ったという言い方はおかしいかもしれませんが、可能性の高いところに対する情報発信ということについては、どのようにお考えでしょうか。

○議長（土井裕美子君）経済推進部長。

○経済推進部長（北岡慶久君）おただしにお答えさせていただきます。

20代も含め、30代から40代の子育て世代と

というのは本市が移住者のターゲットとして設定していますメインの層になります。これらの層に情報が届きますように、検索サイトであるヤフーを通じて、それらの年齢層で、地域の設定や移住に関するサイトを閲覧している人に広告を表示できるように努力もしています。

また、東京圏、関東圏を中心としたイクメン世代に読んでいただけるような雑誌とフリーペーパーにも広告を出稿しています。

○議長（土井裕美子君）13番 田中さん。

○13番（田中博晃君）ネットなんかでやっぱり調べても、最近、橋本市ってなかなか移住の部分で引っかかりにくいというのかな、というのがあるかと思います。結構いろんな大手の不動産屋なんかでもそういった特集とか組まれておるんですけども、和歌山県特集とかを見ても、何で橋本市は名前出てないんやろうと、どうしても思ってしまうところもあって、一つにはもしかしたら情報発信の弱さが、もしかしたらあるのかなというふうにも考えています。

よその、うちへ移住したらこんなんあるよというのを見せてもらっても、全然うち負けてないやんというのがほとんどなので、やはり今、部長に答弁いただきましたけれども、どんだんどんだん発信して行って、そういうところにもちょっとでももし引っかかれば問合せが増えるのかなと。

問合せが増えれば移住してくる方が増える可能性もある。少なくとも問合せとかは来るとお思いますので、ぜひ今後ともそのあたり、力を入れた情報発信というのはお願いしたいとお思いますので、よろしくお願ひします。

先ほど、情報が商品になる、商材になるよというお話もさせていただきました。以前、4番議員が自動販売機の防犯カメラの一般質問をされておったかとお思います。私の知り合

いも同じようなことをやっとして、そういうのってどういう、意図って言い方はおかしいですけども、やるのというたら、やはりそこも、ピンポイントで防犯カメラを設置することで情報を、例えば交通量であったり人の動きであったりというような情報も捉えられるんやと。それが自治体にとって、防犯カメラというウインの部分と企業にとって情報というウインの部分があるので、そういうことを積極的に売り込んでいるんやという話を聞いたことがあります。

やっぱり情報という、これが商品がほんまどないになるか分からん中で、先ほどから移住者へのPRを積極的にしていくという答弁を頂いておりますけれども、それがシティセールス課だけなのか、もしかしたら、今後、学校とかでiPadとかを利用して授業をしていく中で、もしかしたらそこにぽつんとそういう意見が出てきたときに、うまいこと市の中で共有できるのかなと。

窓口はシティセールス課かもしれませんが、情報収集の窓口は全部の部署、もちろん私たちも含めてですけれども、でなかったらあかんというふうに思います。やはり、市全体でまずは情報収集という部分を考えていただきたいと思うんですけれども、そのあたりについてはいかがでしょうか。

○議長（土井裕美子君）経済推進部長。

○経済推進部長（北岡慶久君）橋本市のよさを全国に発信していくということについては、子どもたちであれ高齢者の方たちであれ、いろんなSNS等のツールを活用して情報発信していただけるものと思っています。私たち職員も個々いろんな形で情報発信をするというような努力が、まだまだこれからも必要じゃないかなと考えています。

橋本市の魅力を市民の皆さんに積極的にPRしていただけるような取組を、シティセー

ルス課から市役所内部、それから市民の方にお願ひできるような形で、しっかり声をかけていきたいと、そんなふうに考えていますので、ご理解いただきたいと思ひます。

○議長（土井裕美子君）13番 田中さん。

○13番（田中博晃君）ぜひよろしくお願ひいたします。そうなることで、橋本市のよさがどんどん前に出ていって、いろんなどこで見ただいだいた結果、どこで何が起こるか分からない、でも、表へ出でらんと何も始まらないという部分がありますので、よろしくお願ひいたします。

1 問目を終わります。

○議長（土井裕美子君）議長より申し上げます。

本日の会議時間は、議事の都合により、あらかじめこれを延長いたします。

次に、質問項目2、市道高野口8号線の進捗に対する答弁を求めます。

建設部長。

〔建設部長（奈良雅木君）登壇〕

○建設部長（奈良雅木君）市道高野口8号線の進捗についてお答えします。

市道高野口8号線全区間（国道24号交差点から市道高野口北部連絡線交差点）と、県道九重名倉線の一部区間（県道高野口停車場線交差点から市道高野口北部連絡線交差点）の交換については、地方の幹線道路である市道を和歌山県が管理し、生活道路として地域住民が利用する道路を橋本市が管理することを目的として、交換協議を進めています。

進捗状況としては、担当者間の打合せを経て、事前協議を平成31年1月から開始しています。具体的には、交換区間の決定に始まり、双方の管理する道路の管理施設や占用物件、道路の維持に要する費用、橋梁の老朽化度等の提示、また、現地立会いにおいては修繕の必要な箇所と管理区域等の確認を行い、交換

することに問題や課題がないかを互いに検討し協議を重ね、本年ようやく覚書の締結に向け県と調整しているところです。

今後、交換に関する覚書を取り交わし、双方が管理する道路の修繕等について交換条件を満たした後、双方が新たな道路を認定した段階で交換することになりますので、ご理解をお願いします。

○議長（土井裕美子君）13番 田中さん、再質問ありますか。

13番 田中さん。

○13番（田中博晃君）答弁ありがとうございます。この質問は私、平成29年かな、以前一般質問をさせてもらったんですけども、今答弁いただいたとおり、前向いてちゃんと動いとるでというので、大変ありがたく思います。

合併する前、私はまだ、今も高野口やけど、当時、話を聞いたのは、代行工事みたいな形で高野口町が区間を一旦工事して、終わった後に県へ戻すんやというような話を昔聞いていました。なかなか戻れへんのやなと思ひながら平成29年に一般質問をさせていただいたという経緯があります。

現在、前向いて動いとるということなんですけれども、やはり、絶対うちのほうがメリットは圧倒的に多いと思うんですけども、やはり、交換していく中で、修繕費の部分であつたりとかということで、メリット、デメリットがあるのかなというふうに考えておるんですけども、そのあたりについて、いかがでしょうか。

○議長（土井裕美子君）建設部長。

○建設部長（奈良雅木君）それでは、メリット、デメリットについて、日常の維持管理の観点から、まずは説明させていただきます。

まず、メリットですが、一点目は橋梁の維持管理費の削減になります。これは現状2橋

管理しているのが1橋になること、もう少し踏み込めば、橋面の面積として約4,570㎡あるのが85㎡になります。

次に、二点目。草刈りの面積が少し削減されます。これにつきましては年に2回刈るところもごございますので、延べの面積で説明させていただきますましたら、現状7,100㎡が約7,000㎡に削減されます。

次、三点目。これは冬の雪寒対策、これが不要となります。

次に、四点目については、道路照明の電気料が削減され、また、維持管理も必要なくなります。

今、説明させていただいた四点のトータルコスト、年間に換算して、年間に約150万円の削減となると思います。

次に、日常管理におけるデメリットですが、これにつきましては、延長が500m増える、または生活密接道路になることにより、日常のというか、対応件数は増えることが見込まれます。

それで、将来を踏まえた中で大きなメリットとすれば、例えば大規模修繕が必要となったとき、今の現況の8号線の場合は、舗装の打ち替えを全部したとして約8,000万円ぐらいのコストがかかってこようかと思えます。現状では、交換までに県に指摘されて修繕の必要があるのは、舗装の損傷部、それと区画線の薄くなったところの引き替えで約250万円を見込んでおりますが、将来的に大規模修繕が必要となったときは8,000万円ぐらいのコストが必要となってくる。

そして、もう一点。現状の橋梁については健全度2ですけれども、将来的に老朽化が進んで3、4になったとき、私どもが今管理しています8号線では、延長が411mある橋梁があり、または、それがJRの高架橋となることから、もしもこれに大規模修繕をしな

ければならないことになれば、多大なお金が必要となってくると考えます。

よって、メリットのほうが大きいことは間違いなく、少しでも早い時期の交換をめざし頑張りたいと思いますので、ご理解のほどよろしく申し上げます。

○議長（土井裕美子君）13番 田中さん。

○13番（田中博晃君）よろしくお願ひいたします。以前聞いたときにも相当お金か、相当な額がかかるというも聞いていますし、また、JRの上ということで、その部分だけはJRが点検されるというたんかな、いろいろそういうお話も聞いている中で、市にとっては、できるだけ早く県道と市道を交換していただいたほうが、今の答弁でもメリットのほうが大きいということだったので、よろしくお願ひいたします。

となった場合に、やはり最終的に、本年度中に、先ほど覚書に調印するという答弁があったかと思うんですけども、それをやったその先の最終目標というのか、だいたいどの辺をめどに交換できたらいいなというのか、どの辺のめどまで頑張っていこうかなというのがありましたら、答弁をお願いします。

○議長（土井裕美子君）建設部長。

○建設部長（奈良雅木君）相手もある話ですので、できるだけ早い時期をめざすということでご容赦願えますか。

○議長（土井裕美子君）13番 田中さん。

○13番（田中博晃君）それはそうですね。県の話もちろんあるので。

でも、やはり、できるだけ早い時期にめざしていただければ。今、250万円ぐらい一旦かかるのかなというの、あんまり長なったらまた金額が増えるかもしれへんしということで、県との協議を進めていただきたいと思います。

これで終わります。

○議長（土井裕美子君）13番 田中さんの一質問は終わりました。

○議長（土井裕美子君）お諮りいたします。

本日の会議はこの程度にとどめ延会し、明3月9日午前9時30分から会議を開くことにいたしたいと思います。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（土井裕美子君）ご異議がありませんので、そのように決しました。

本日は、これにて延会いたします。

（午後4時48分 延会）